

目次

【事業概要】

医薬品卸売事業と調剤薬局事業を中核として 皆さまの健康をサポートしています	4
--	---

【トップメッセージ】

さらなる医療の充実をサポートし 環境保全に力を尽くします	6
---------------------------------	---

【グループ理念と中期計画】

身近にできることから 「ひとりひとりのエコアクト」を進めています	8
-------------------------------------	---

【震災特集】

復興に向けて医療人としての責務を果たしていきます

グループ全体の活動と被害状況

3月11日の地震当日から事業継続に努めてきました	14
--------------------------	----

東北6営業所の所長によるダイアログ

すみやかに困難に対処して医薬品の供給を続けました	16
--------------------------	----

被災地の調剤薬局の活動

地域に根ざした薬局として、町の復興を担っていきます	20
---------------------------	----

【活動報告】

6つの領域でバランスよくCSR活動を推進しています

① 環境のために

社員ひとりひとりがエコアクトに取り組んでいます	24
-------------------------	----

② 患者さまのために

皆さまの健康と暮らしのためのシステムを展開しています	30
----------------------------	----

③ 顧客のために

システムを開発・提案して医療環境の整備に寄与しています	32
-----------------------------	----

④ 社員のために

健康でいきいきと働ける職場と制度を整えています	36
-------------------------	----

⑤ 地域社会のために

地域社会との結びつきを強め、その発展をお手伝いしています	39
------------------------------	----

⑥ 株主のために

健全な経営を持続できるように、体制の整備・拡充を推進しています	40
---------------------------------	----

【会社概要】

3社の概要(2011年3月期) / 組織図 / 財務データ(連結) / 年表(2010年4月～2011年4月) / 2011年版の発行について	42
---	----

編集方針

東邦ホールディングスは、医療と健康に貢献することを目的とする事業体として、企業の社会的責任（CSR：Corporate Social Responsibility）を果たすために、さまざまな取り組みを積み重ねています。このCSR活動の内容と今後の方向性を、ステークホルダーの皆さまにご報告するために、2008年度より「CSR報告書」を作成しています。私たちは、株主や投資家はもちろん、広く患者さま、顧客の皆さま、地域社会の皆さまや社員をも事業に深くかかわるステークホルダーとして、ご報告の対象としました。なお、2009年度以降、現代社会の緊急の課題である環境問題への取り組みを強化しています。2010年度は、年度末の2011年3月11日に東日本大震災が発生し、あらためて企業の責任について考えさせられました。今号では「震災特集」を組み、私たちの災害への取り組みをご報告しました。

対象期間

2010年4月1日～2011年3月31日

※一部、当該期間外における取り組みが含まれています。

対象組織

対象は東邦ホールディングスの連結会社です（文中では、「東邦ホールディングス」と表記し、純粋持株会社である「東邦ホールディングス(株)」と区別しています）。一部の非連結の子会社も対象としています。

東邦ホールディングス内の特定の会社やグループごとの取

り組みを報告する場合は、次のように、会社やグループ名を明記しています。

- 東邦ホールディングス(株)……純粋持株会社
- 東邦薬品(株)……医薬品卸売事業運営会社
- ファーマクラスター(株)……調剤薬局事業管理会社
- 共創未来グループ……医薬品卸売事業の連結・非連結各社

※各社と各グループの関係は、P.42の「組織図」を、それぞれの事業内容は、P.4～5を参照してください。

参考ガイドライン

当報告書は、環境省「環境報告ガイドライン～持続可能な社会をめざして～(2007年版)」とGRI(Global Reporting Initiative：CSR報告書の国際的なガイドラインを作成する非営利団体)の「GRIサステナビリティ・リポーティング・ガイドライン第3版」を参考に作成しました。

発行

2011年10月（次回発行は2012年10月予定）

※東日本大震災が発生後、不急の業務を休止し、被災地への支援を優先してきました。「CSR報告書」も、発行を6月から10月に変更しました。

〔注記〕

- ・文中の数値は端数を切り捨て処理しています。
- ・「病院」は病床数が20床以上、「クリニック(診療所)」は19床以下の医療機関を指します。

報告記載事項の決め方（CSRマテリアリティの設定）

東邦ホールディングスは、CSR活動の規模を年々拡大させてきました。それにとともに、「CSR報告書」に記載すべき事項や情報も増えてきます。スペース上の制約により、重要な取り組みを優先して記載しました。東邦ホールディングスでは、その重要性（マテリアリティ）を評価するにあたり、二つの評価軸、すなわち「ステークホルダーにおける重要性」と「東邦ホールディングスにおける重要性」を基盤としています。

【ステークホルダーにおける重要性】

- 上記参考ガイドラインで記載を求められている項目
- 社内外のダイアログであげられた意見
- 「CSR報告書2010」への意見
- 株主などから寄せられた意見

【東邦ホールディングスにおける重要性】

- グループ理念 ●中期経営計画
- 中期CSR計画 ●コンプライアンスとリスク管理の状況 など

